

平成19年度 第6回平田地域協議会 会議記録（抜粋）

○日 時 平成20年2月14日（木）午前9時30分～12時10分

○場 所 平田総合支所 大会議室

○出席委員 15名 1号委員 工藤多喜雄、丸山賢治、齋藤孝雄、今井英夫、石川敏行、
西田 克、加藤勝子、菅原律子

2号委員 佐藤富雄、後藤保喜、富樫文雄、佐藤良二

3号委員 佐藤達也、富樫美雪、藤原幸雄

（※1号委員：公共的団体推薦、2号委員：識見委員、3号委員：公募委員）

○欠席委員 なし

○職 員 平田総合支所長：佐藤富雄、地域振興課長：齋藤啓一、市民福祉課長：久松勝郎、
建設課長：鈴木良寿、産業課長：尾形 力、教育振興室長：齋藤善和、地域振興
課課長補佐：石川忠春、地域振興主査兼地域振興係長：佐藤良広、地域振興課主
任：高橋 慎、地域振興課主事：加藤千佳子

○傍 聴 者 1名

< 協議会次第 >

○市民憲章の唱和

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 平田総合支所長あいさつ

4. 会議録署名委員の選出

5. 報 告

(1) 平成20年度 平田地域の主要事業、予算について

(2) 各課からの報告事項について

6. 協 議

(1) コミュニティ振興組織について

・平田地域における組織づくりの案について

・組織結成イメージ、自治会活動との調整について

・今後のスケジュールについて

(2) その他、地域の課題等について

7. その他

8. 閉 会

●開会に先立ち、全員で酒田市市民憲章を唱和し開会する。

1. 開 会 … (進行を務める地域振興課長が開会する。)

2. 富樫会長あいさつ

暖冬の予想であったが大雪となった。

コミ振については、この会でも多くの時間を割いて議論してきたが、31日に区長、分館長・主事、地域協議会の三団体正副会長に地元市議会議員を交え、支所が示した案について検討した。本日は、その案に各委員からの意見をいただきたい。

さて、去年は食品偽装問題が大きな話題となったが、輸入冷凍食品の問題が連日マスコミを賑わしている。私事ではあるが、食の勉強会を行っている。子供のアトピーなど次世代に向けた市民の食の取組みは活発になっている。食産業、生命に関わる問題であり、安全安心のまちづくりという観点をもふまえ皆さんの活動にも期待したい。

当協議会としては、市民の目線で、積極的な意見を市政に反映したいと考えている。本来の地域協議会の役割を果たすため皆さんの活発なご意見をお願いしたい。

3. 平田総合支所長あいさつ

厳しい天候の中ご苦労様です。

本日は、当地域に係る20年度の予算内示の状況を後ほど報告したい。また、支所機能では、建設課と産業課が統合されることが決定し、水道部平田分室についても、職員1名が水道部のお客様係に統合される。不便をかけないように対応したいのでご理解を願いたい。

さて、コミ振のくくりについては10地域の出前講座や当協議会の意見等をふまえ、支所として、1月31日のコミ振結成に向け区長、分館長・主事、地域協議会の三団体正副会長と地元市議会議員との意見交換会に案を提示した。事前に資料を同封しお知らせしたので委員各位もご覧いただいたと思う。午前中、当協議会で意見をいただき、本日午後、区長、分館長・主事の合同会議に内容を説明し意見をいただく予定である。

新たな組織を立ち上げるには大変なエネルギーが必要であり、時には痛みや負担増もあるものだろう。しかし、その痛み等が特定の地域に偏ることがなく、平田地域のまとまりを確保できるくくりとしなければならないと考えた。長年続いてきた公民館(分館)に代わる新たな地域づくりの枠組みとして、平成21年から5つのコミ振としてスタートしたいというものである。各委員の所属する地域や団体の意向はもちろん、平田全体の視点、大所高所からご意見をいただきたい。よろしくご審議を願いたい。

4. 会議録署名委員の選出 … (6番 西田 克委員を選出)

5. 報 告

○ 富樫会長

報告事項であり、(1)(2)を、担当より報告をいただき、その後、質問等を受けた。

(1) 平成20年度 平田地域の主要事業、予算について

(地域振興課長より、平田地域の主要事業、地域づくり予算について報告。)

(2) 各課からの報告事項について

(建設課長より、県道整備計画、マックスバリュの移転計画等につて報告。)

○ 佐藤(良)委員

六ヶ村排水路整備事業は、JR下の改修ということだが、今年度は40cm切り下げる工事を行うということか。

○ 建設課長

延長30m、事業費7,500万円で行うもので、20年度事業で切り下げと同時に幅も広げる計画となっている。

○ 佐藤(良)委員

マックスバリュの排水対策についても、市で適切に指導するなど対応を願いたい。濁水期などの臭い、下流の水質保全を大切にしてほしい。

○ 建設課長

排水方法は調整池の設置も含め関係団体とも協議が進められているようだ。現在は農地からの転用についての協議段階で、水質保全については、開発行為の手続きの中で所管ごとに対応する。本所所管課に伝える。

○ 藤原委員

マックスバリュについてだが、昨今、規制緩和の流れなのか資本の大きな企業が拡張されていく感がある。自由競争によって地元商店は厳しい状況にさらされており、果たして地域にとって良いのかどうか疑問がある。状況を伺いたい。

平田診療所が廃止されたわけだが、医師住宅が砂越地内で空き家となっている。管理も含め今後どのように活用するのか伺いたい。

○ 産業課長

今回のマックスバリュの計画は、現店舗の移転であり新規の大規模店舗の参入ではないと捕えている。拡張する店舗内に地元商店のテナントを受け入れることなども考えられており、商工会で地元商店との調整などを進めている。

○ 市民福祉課長

医師住宅は健康課の所管で管理している。松山診療所、八幡病院の医師用としての活用などを検討している。

6. 協 議

(1) コミュニティ振興組織について

- ・平田地域における組織づくりの案について
- ・組織結成イメージ、自治会活動との調整について
- ・今後のスケジュールについて

(地域振興課長、及び担当より資料が説明される。)

○ 富樫会長

1月31日の会議を経て資料が示された訳だが、まず、各委員から質問や率直な意見を受けたい。

○ 佐藤（達）委員

組織として山手4分館がひとつとなることを目標とすることは理解できるが、当面の期間は2つで構成と言うことで、その期間はどの位を考えるのか。「山谷・郡鏡」も同じである。また山手2つの事務所はどこを想定しているのか。

○ 地域振興課長

まず21年度のスタートは5コミ振という考え方である。コミ振活動への住民の理解、少子高齢化の進展等をふまえ、それぞれ構成する方々で判断し、無理なく自然に一緒になるべきであり、今ここでいつとは言えない。財政支援制度をふまえると、一緒になることでメリットも小さくなる。事務所は、「山元・田沢」は田沢公民館、「中野俣・北俣」はコミセンの一室を想定した。田沢地域でコミセンの一室にと言う意見もあるとは聞いているが、拠点施設への財政支援から考えて田沢分館を利用するのがベターだと考えている。4地域がコミセンに結集することは、課題もあるが仁助新田地区の賑わいや活性化に資するものと認識はしている。また、郡鏡コミュニティ施設は規模、機能が充実しており、その活用を意図した案である。

○ 佐藤（達）委員

コミセンに2コミ振の事務所を置くことは可能か。また、期間を明確にしないで目標

とすることはいかがかと考える。3～4年後なり明らかにして向かうべきではないか。

○ 地域振興課長

コミセンの事務所活用は、市役所担当課とも十分協議して詰めていく必要がある。コミ振統合の時期については、田沢小学校のことなども深く関わるものと考えている。

○ 藤原委員

具体案が示されたわけだが、水面下なりで関係する区長同志、分館長同志で合意しているのか伺いたい。砂越地域では、単独コミ振を目指したいという考えが公民館便りで明らかになっている。また、田沢小学校は補助金の関係で10年間は転用できないと聞いてきたが、その期限はいつなのか。

○ 地域振興課長

案をつくった背景は資料のとおりで、地域状況等を総合的にふまえたものである。コミ振の結成について地域が判断するのは大前提であるが、行政側から案を出してほしいという声も大きいため、これまでの協議や各地域の出前講座などの意見を集約した形を支所として今回示したものである。この案は1月31日に区長、分館長・主事、地域協議会の三団体の正副会長と地元議員の合同会議で意見交換し、この案で先に進めることが了承されたものである。特定の方と協議して決めたものではなく、また各地域間でも正式な協議はまだなされていない状況である。

○ 教育振興室長

基本的には10年経過すれば社会教育施設等への転用が可能となっている。田沢小学校の場合は、平成20年度に教室棟が10年経過する。(平成11年3月完成)

○ 佐藤(良)委員

砂越地域の中に砂越自治会単独で結成する考えがあるようだ。また、緑町は同時、町主導の誘致団地として、集会施設は町が準備するという条件での分譲であった。その後、公民館を整備してもらった訳だが、分館施設の管理が問題であり、コミ振に移行後も市が面倒を見てくれるならば、砂越と一緒にすることは了としている。コミ振の負担金の徴収については、地元自治会での徴収には課題がある。コミ振には参加しないという人が出ないか心配している。

○ 支所長

出前講座でもその件は伺っている。緑町の団地分譲の際、集会施設を町で準備するという条件があった。当初、砂越地区の施設等を活用していたが、その後、公民館を建設した経過がある。行政として当時の約束を守っていく必要がある。

○ 齋藤委員

要望として、協議の時間を確保するため資料も事前に配布されており事務局の説明は簡潔にしてほしい。また、委員には個々の所属地域のことではなく、平田全体を見ての委員の判断が求められているのではないかと。確かに10分館のままで行ければ良いが、

コミ振結成に向けての取組みを前に進めるためにどうすべきかを協議すべきである。

山谷では地区としては10日、分館として12日に案を協議し、不満はあるが平田全体を考え、地域として受入れるという考えにある。特に1自治会1コミ振を回避する方針には賛同する。ただ目標を3コミ振とし、現実には5コミ振でスタートする示し方はいかななものか。市町村合併の将来は庄内ひとつのようなもの。今、やるべきことに100%集中するため5コミ振を結成すると明確に示すべきである。

○ 地域振興課長

コミ振結成の目標と現実のとらえ方については、委員の指摘は理解できる。支所としても、目標を掲げながら、あくまでも当面はコミ振を5つ結成することを示しているつもりである。

○ 佐藤（富）委員

出前講座の記録、また実際中野俣、北俣の会場では、山手に2つ結成する意見は少なかったようだ。田沢では「山元・田沢」で結成すべきとの意見が一部あったようだが、山手に2つを結成するというこの案は、大所高所からの判断があったものととられている。しかし、一度作ってまた再統合というのは現実にはかなり困難ではないのか。この際、目標となっている4地域をひとつにしてはどうかと考える。

○ 後藤委員

この種の地域を再編する作業は大事業であると考え。佐藤（富）委員の意見はもつともであるが、まず、現在の小学校や消防団（分団）などのまとまりを重視してスタートし、住民が参加しながら勉強していくという方法も良いのではないか。

○ 工藤委員

出前講座は土曜日に田沢、日曜日には山元で連続して行った。仁助新田に4地域がまとまる意見もあったが、山元の館長という立場では、役員会の意見でもある「山元・田沢」と考える。なお、コミ振としての会費集金は、区長でなくコミ振役員に任せるべきであろう。

コミ振の結成に当たり最大の課題は、残った分館施設の管理である。山元地域ではとても地元負担で管理することはできない。いつこの問題の結論が出るのか。また、山元地域は災害の危険も多い地域であり、万一の場合などには、仁助新田のコミセンは「中野俣・北俣」の施設ということだけでなく山元地域でも使用したいと考えている。

○ 地域振興課長

3委員からそれぞれ意見をいただいたが、この枠組み案はまさにそのような意見をふまえた案である。コミ振会費は、現在負担している公民館費程度をベースとして検討していく必要がある。旧酒田市においては、自治会費の中でまとめて徴収している例が多いと聞いている。また、現分館施設の管理、分室としての取扱いは大きな課題と認識している。地域の意見も伺っているが、くくりがまとめればさらに担当部局と詰めていく。

○ 石川委員

午後には区長、分館長・主事の合同会議があるとのことであるが、当協議会としてはこれまで継続してコミ振の件は協議してきた。今日は協議会としてこの提示された案に対する判断を示すべきではないか。意見として「山谷・郡鏡」は飛び地的な状況にもあり、いずれ「飛鳥・檜橋」と再統合するなら一気にできないかという思いはあるが、とにかくこの案に対してどう応えるのか私たちには責任がある。

コミ振の組織づくりには大きな事務量、負担感が伴うものだろう。特に地区の代表である区長の方々はそれぞれ忙しく、またこの問題に係る負担も相当なものだろう。当協議会として全体的な方向付けをし、個々の調整を各区長に委ねていくべきである。

○ 菅原副会長

婦人を代表してこの会に臨んでいるが、やはり枠組みを想定しないと、議論は先に進まないものだろう。この案では、婦人会などはどうなっていくのか。

○ 地域振興主査

平田全体で組織されている団体は数多くあり、それぞれ平田地域の振興を担っている。基本的に各団体の考え方にはなるが、コミ振ごとに支部や地区協議会などを設置したほうが、より地域と一体となった活動が図られるものと考ええる。今後、各団体とも効率的で効果的な組織体制、運営方法等を協議していきたい。

○ 富樫（美）委員

「山谷・郡鏡」、「檜橋・飛鳥」でスタートし、将来ひとつにする目標となっているが、2段階でなく最初から一緒にスタートすること、あるいは、一本化する時期を示すことなどはできないのか。

○ 富樫会長

案が作られてきた経過についてなど、委員各位の意見はそれぞれあるものと思う。また、当協議会としての判断を示すべきとの意見も出された。会長として委員の意見を集約し判断もしたいので、ここで、まだ発言していない委員から意見をいただきたい。

○ 西田委員

私はまだまだ検討の余地があると考えている。案についてもいろいろと質問したい点もある。当協議会として、今判断をすることはいかなるものかと考えるし、賛成、反対は決められない。

○ 加藤委員

これまでこの問題は何度も検討してきた。既得権もあり地元の方には色々な思いがあるかと思うが、何のために、何をすべきかを考え、一歩前に進む必要がある。行政には、どのような方向に持って行こうしているのかをより明らかにしていきたい。

○ 今井委員

コミ振については、区長会、分館長・主事会、地域協議会の三団体でこれまで検討し

てきた。当協議会では、個々の地域意見でなくトータル的に検討すべきであろう。私は、この案を先の三団体正副会長会でも了解しており、この案をもとに進めるべきと思う。課題はあるかと思うが前に進め、午後の区長等の会議に判断を委ねても良いのではないか。

○ 齋藤委員

私は午後も同じような議論になると思う。我々は組織イメージをあれこれ議論するのではなく、今、結成に向けスタートするためのまず枠組みを決める必要がある。議論ではなく前に進んで行くべきである。

○ 富樫会長

本日はコミ振一本に絞って意見をいただいてきた。言うまでもなく当協議会は市政に対して地域住民の意向を伝えること、同時に地域住民の意見をくみ上げることが求められている。各委員からの貴重な提言に対して感謝する。この案で進めるべき、もう少し時間をおいて決めるべき、また、どちらかに決めることはなじまないという意見が出されたが、この枠組み案で進めることでどうか。

○ 西田委員

本日結論を出すのはいかがかと思う。それぞれの意見があったことを示すこととし、結論は早いのではないか。

○ 石川委員

3年間も議論してきて方向性も示せないのはいかかなものか。当協議会としては案のとおり進めることが望ましい、そういう意見であると決めるべきである。

○ 富樫会長

当協議会は、コミ振の結成を決定する機関ではないが、本日、提案されている枠組み案への各委員の賛否を伺いたいがいかがか。

○ 西田委員

私は、3つを目標としつつ結成は5つという示し方を修正して、3つ作るか5つ作るか明らかにして各委員の賛否を問うべきだと考える。

○ 藤原委員

今日は、当協議会の意見をまとめるべきである。私は、この案に賛成をする。

○ 富樫会長

私たち委員にはそれぞれの立場があるが、協議会として、意見を集約する必要がある。本日支所から示されている結成の枠組み案について、会長として委員の賛否をとりたがいかがか。(了承の声多数。)

それでは、まず賛成の方の挙手をお願いしたい。

(丸山委員が他の会合への出席のため中座していたため、賛成は、会長を除く12名。)

反対の方の挙手をお願いしたい。(1名。)

ありがとうございました。この結果を、本日、提示された案についての地域協議会としての意見としたい。

(2) その他、地域の課題等について

○ 佐藤（良）委員

小学校のスクールバスについて伺いたい。砂越の小学生の一部もスクールバスを利用しているようだが、緑町の小学生は対象となっていない。郡鏡地域の小学生が冬季間利用していたのは知っていたが、砂越にもバスを運行していることは知らなかった。基準はどうなっているのか。

○ 教育振興室長

冬季に限定して運行しているものである。砂越地域から要望があり、集合場所の問題、バスの運行経路など総合的に検討し対応した。新たな要望があれば、諸事情を考慮し対応する方針にある。安全に関わる要望は団体にかかわらず随時要望を受け付けている。

○ 佐藤（良）委員

行政としてスクールバスを運行する基準を明確にしてほしい。どういう理由で実施しているのか後で資料をいただきたい。

7. その他 (なし)

8. 閉 会

○ 菅原副会長

本日は19年度6回目の地域協議会であった。結成イメージの資料も解りやすく、組織づくりの案への委員の賛同もいただき、いよいよ平田地域の組織づくりの方向性が見えてきた。21年4月に向けて、皆さんと共に力を結集して進めて行きたい。

以上で、第6回平田地域協議会を閉会する。

(12:10 閉会)

(注) コミュニティ振興組織=コミ振 として文中使用

会議録署名委員